

福井県立大学特別シンポジウム

東日本大震災の教訓

～あらためて原子力と向き合うために～

日時

2012年1月26日(木) 13:30～16:40

参加無料

会場

福井県国際交流会館 地下多目的ホール

記念講演



「福島と福井：原子力発電を見つめる視点」

橋川 武郎氏 一橋大学大学院商学研究科教授

パネルディスカッション

テーマ 「あらためて立地地域から原子力を考える」

コーディネーター 南保 勝氏 福井県立大学地域経済研究所 教授

パネリスト 野瀬 豊氏 高浜町長

来馬 克美氏 財団法人若狭湾エネルギー研究センター専務理事

井上 武史氏 福井県立大学地域経済研究所 講師

コメンテーター 橋川 武郎氏 一橋大学大学院商学研究科 教授



南保 勝氏



野瀬 豊氏



来馬 克美氏



井上 武史氏

主催：福井県立大学(主管：地域経済研究所) 共催：福井県、財団法人若狭湾エネルギー研究センター
後援：北陸経済連合会、福井県環境・エネルギー懇話会、福井商工会議所、福井経済同友会、敦賀商工会議所

東日本大震災の教訓

～あらためて原子力と向き合うために～

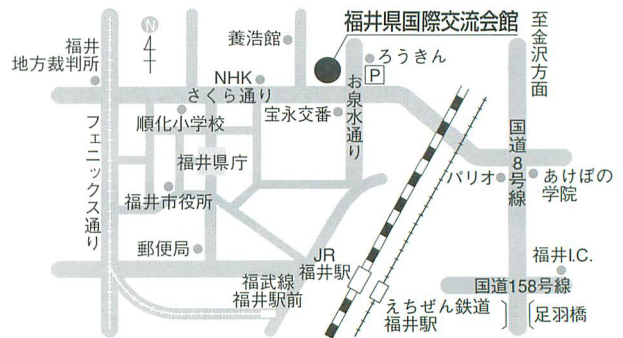
プログラム

東日本大震災の発生による福島第一原子力発電所の事故を受けて、早期収束と原因究明が重要課題になると同時に、原子力発電の将来について、国におけるエネルギー政策だけでなく福井県をはじめとした立地地域からも議論が行われています。

原子力政策のあり方は、国では原子力発電の必要を考える国民的議論として、また立地地域では原子力と共生する地域全体の議論として、あらためて向き合うことが求められています。

本シンポジウムは、東日本大震災の教訓から日本のエネルギー政策がどのように変化し、それを立地地域としての福井県民がどう受け止めるべきかを考え、原子力発電にあらためて向き合う機会とします。

- 13:30 開会
- 13:40～14:50 記念講演 橋川 武郎氏
- 15:00～16:30 パネルディスカッション
- 16:40 閉会



会場のご案内

【徒歩の場合】JR福井駅から約10分(タクシーをご利用の場合約5分)

【お車の場合】福井ICまたは福井北ICから約20分

※駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

「東日本大震災の教訓～あらためて原子力と向き合うために～」参加お申込書

※下記に必要事項をご記入の上、郵送・Tel・Fax・メールにてお申し込みください

企業・機関名		
所属	役職	
氏名	TEL	FAX
企業・機関名		
所属	役職	
氏名	TEL	FAX

お申し込み・お問い合わせ先：福井県立大学地域経済研究所事務局 担当 藤田

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1

TEL：0776-61-6000 (内線 6202) / FAX：0776-61-6017 e-mail：keiken@fpu.ac.jp

※当日のご参加も承ります。また下記ホームページからお申し込みいただけます。

<http://www.s.fpu.ac.jp/fukk/symposium/index.html>